

先生方の教え！

荒川工業高校は職業高校です。職業高校とは、専門的な知識や技術を身に付けるとともに、社会に出るための準備をする学校です。皆さんの学校生活の様子を社会に出たときに置き換えて考えてみてください。例えば・・・

授業をさぼる（携帯で遊ぶ）→仕事をさぼる（携帯で遊ぶ）。

授業中居眠りをする→工作中居眠りをする。

学校のルールを破る→会社のルールを破る。

苦手だから勉強をしない→得意な分野でないから仕事をしない。 などなど・・・

皆さんはどう考えますか。就職・進学それぞれの希望があるとは思いますが、誰もがいずれかは社会に出ます。ならば、職業高校での社会に出るための学びをとおして、しっかり準備をしましょう。仮に進学したとしても、本校で学んだ皆さんは、他の高校で学んできた生徒よりも社会に出る準備はできている。それが、荒川工業高校で学んだ価値です。

私は高校が普通科でしたので、社会に出る準備は大学に出てからとなりましたが、とても苦労しました。特に履歴書の作成に苦戦したのを覚えています。まず、資格や検定などの欄がスラスラ状態で書く内容がない。きれいに書くことと丁寧に書くことの違いを理解するまでは、書き込む字はまっすぐに書けず、しかも字ごとに大きさがバラバラ。人様に評価をしてもらうための履歴書を作成するのに1か月以上も時間がかかったのを覚えています。

そんな私が会社員として選考する側になった時に、上司に言われた言葉を覚えています。「履歴書などの応募書類に必要事項が書かれているかの確認は最低限、書かれている字や内容、体裁などから採用選考を受ける人の価値を見極めることが人事の仕事」と。

そりゃ、そうですよね。年収400万と仮定し、定年まで40年間、生涯賃金は単純に1億6千万以上、会社はその額を人財（材）に投資するわけですから、いい加減には選べません。

社会に出る準備は、相手の予想を超えたときに価値が見いだされることを理解することから始まります。これは難しいことではありません。毎日掃除していると、掃除していないときには気付かない汚れに気付くようになります。字を丁寧に書くことを心掛けると、次第とバランスが気になります。日々の生活の中で少しずつ意識して社会に出る準備を始めましょう。



ぶらり、あらこう散歩

今週もぶらりと、あらこう散歩をしていると、授業や進路のガイダンスで熱を帯びた先生方の言葉が心に刺さりました。きっと、皆さんも同じように感じていたのではないのでしょうか。

「皆があきらめなければ、最後まで先生は面倒見るぞ」「自分の人生、考えて、考えて、選択して、行動するよう」など、直球すぎる言葉に頼もしさと安心を感じました。

先生方は、皆さんに言葉だけではなく、生き方も示していますね。そんな先生の背中に不思議と個性を感じませんか。是非、皆さんには先生方の個性とともに発信している覚悟も感じてほしいと思います。先生方は皆さんの応援団なのです。

さて、先週は定時制のグループエンカウンターに1年生12名と一緒に参加してきました。初めて話す機会であとたどしさを感じていましたが、終了時には12名のそれぞれをグッと身近に感じられるようになりました。壁を作らず、コミュニケーションに挑戦ですね。

荒川工業高校の授業は、皆さんに少しずつ背伸びをさせます。つま先立ちしてフラフラと不安定になっても、皆さんを先生方がしっかりと支えてくれます。安心して前進だ！荒工生！

「未来を創る！ 彩る！ 荒川工業」

